



在学青年の生活意識 現実的な

県教育委員会は、昭和52年に県内30校2,000人の高校生を対象として、「高校生の生活意識と行動に関する調査研究」を行いました。

この調査結果から、現代の高校生気質を浮き彫りしてみると…。

◆ 多い勉強と進学の悩み

現代の高校生が「悩んでいることや心配していることは何か」をみると、選択肢13項目の中で、最も多いのが「勉強のこと」ついで「将来のこと」「進学のこと」の順になっています。

これを学年別にみると、1年生は

勉強、2年は異性や性格面、3年生は将来と就職のことでの悩みが多く各学年毎の特徴といえます。(表)

◆ 目立つ無目的の勉強

「今、何のために勉強しているか」の問に対しても「自分をみがくため」という答えが37%で一番多いが、これを除くと「ただ何となく」「どこでもよいから就職するため」「しかたなく」といった無目的で、なりゆ

きまかせの姿勢が目立っている。

しかも、この姿勢は、上級学年になるとにつれて、はっきりしてくる傾向がみられます。

とくに、「ただ何となく」は、1年生26%、2年生31.9%、3年生32.4%、「どこでもよいから就職するため」は1年生19.2%、2年生23.0%、3年生27.8%。この他に全体で「一流大学に入るため」が10.6%となっている。

高校生の悩み

単位:パーセント

選択肢	全體	1年	2年	3年	選択肢	全體	1年	2年	3年
勉強のこと	64.5	77.0	63.8	52.4	性格のこと	24.7	24.3	26.8	22.6
進学のこと	35.0	24.9	40.5	40.0	世の中のこと	5.9	6.1	5.9	5.6
家や家族のこと	9.5	8.7	10.8	8.8	容姿のこと	9.3	8.5	10.4	8.8
友人のこと	13.6	14.2	15.2	11.4	将来のこと	44.9	40.5	43.4	51.1
異性のこと	21.2	18.9	23.1	21.5	お金のこと	13.6	16.2	13.2	11.5
就職のこと	19.8	9.3	12.6	38.7	その他の	11.2	13.5	12.0	8.0
健康のこと	12.3	13.1	11.6	12.3					

社会でのふれ合いに期待

高校生の社会参加を進める研修会が、市教育委員会の主催により、11月9日の日曜日、今泉公民館で開かれた。この研修会は、3回にわたって開かれ今回が最終回。

参加した30人余の高校生は、講義・グループ討議・クリスマス会の飾り付けを学習。講師の富士東高、風間校長先生は、「高校生に期待する」という講義の中で「他人の気持ちがわかつてくれる人になってほしい」と強調。参加者は真剣な眼差しで聞き入っていた。



高校生の社会参加を進める研修会